PARKING

No.256
2026. 10

各地駐車協会総会報告
情報発信「アンテナ」（第29回）
「ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、
駐車場を取り巻くトレンド　Vol.2」



JAPAN
PARKING
ASSOCIATION
一般社団法人
全日本駐車協会

先進技術がつくる、
安心・安全のパーキングシステム

ロック板
システム



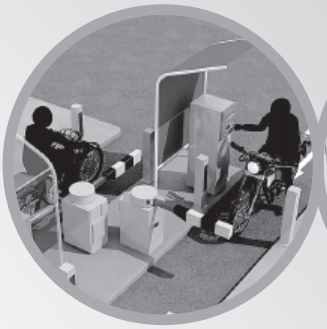


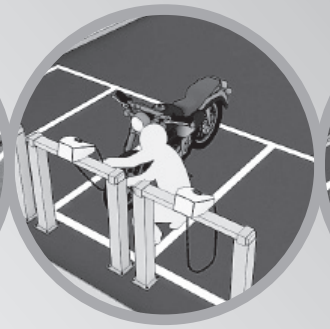
車番認識
システム













駐輪・駐バイク
システム





車路管制
システム

＊駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく
三菱プレシジョン株式会社
本社・営業本部
〒108-0075　東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川8階
https://www.mpcnet.co.jp

お問合せ先
駐車場システム営業部　03-6712-1732
中部支社　052-961-3557
関西支社　06-6484-7206
北海道営業所　011-213-7826
東北営業所　022-216-4615
静岡営業所　054-204-4505
中四国営業所　082-546-2176
九州営業所　092-273-0880

伸びゆく丸の内と、
いつもいっしょに。
丸の内パークイン



「丸の内パークイン」として
20ヵ所・約4,700台の
広域駐車場を運営

since
1960
1960年 日本初の地下駐車場開業



P PARK-IN
丸の内パークイン

https://www.marunouchi.com/information/parking/
Tel.03-3212-0808

飲酒運転は法律で
禁じられています。
Drunken Driving Prohibited by Law.

JAFS
JAPAN AUTO-PARK FIRST-AID SERVICE

PARKING
MAINTENANCE
REPAIR
OPERATION

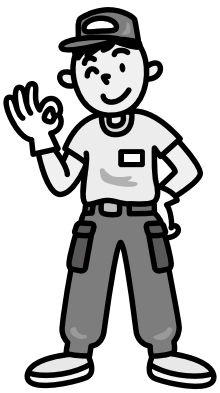
機械式

駐車場・駐輪場のメンテナンス

・定期点検　・緊急出動　・故障修理

- 日本全国OK!!
- 24時間365日OK!!
- 大小問わずOK!!
- 合理的な料金でOK!!

遠隔監視システム
での無人管理OK



一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9　TEL.03-3663-1755 FAX.03-3663-1750 URL.https://www.jafs99.co.jp/

パーキングシステムのご提案から
設計・施工・保守・コール対応までトータルサポート



FDC 株式会社富士ダイナミクス

● **本社 / 中目黒サービスセンター**
〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL（代表）:03-3793-5411
TEL（中目黒サービスセンター）:03-3793-5416

● **営業本部（パーキング営業統括部 / パーキングシステムソリューション部）**
〒153-0043 東京都目黒区東山1-4-4 目黒東山ビル4F
TEL:03-3793-7411

● **西日本営業所（パーキングシステム営業 / ドライビングシミュレータ）**
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL:06-6325-2761

● **西日本営業所 福岡営業部（パーキングシステム営業）**
〒812-0035 福岡県福岡市博多区中呉服町3-10 勝冶呉服町ビル
TEL:092-282-3491

● **仙台営業所（パーキングシステム営業 / 機械式駐車場設備）**
〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢1-11-21
TEL:022-244-5461

● **名古屋営業所（パーキングシステム営業）**
〒467-0868 愛知県名古屋市瑞穂区大喜新町1-2-6 ロイヤル牛巻第12階
TEL:052-883-0700

● **湘南事業所（ドライビングシミュレータ）/ 保守技術部 湘南サービスセンター**
〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎662-2
TEL（代表）:0467-45-6867
TEL（湘南サービスセンター）:0467-47-8901

● **横浜サービスセンター**
〒220-8129 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 29階
TEL:045-224-2256

● **丸の内サービスセンター**
〒100-6806 東京都千代田区大手町1-3-1「JAビル」6階
608区
TEL:03-3287-0594

● **羽田サービスセンター**
〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-2 東京国際空港
第1旅客ターミナルビル 三菱プレシジョン株式会社 内
TEL:03-5756-7245

● **東京ベイサービスオフィス**
〒279-0012 千葉県浦安市入船一丁目5番2号 プライムタワー新浦安
515号室
TEL:047-313-9800

● **相模原サービスセンター**
〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-3-14 大河原ビル
201号室
TEL:042-730-6611

● **さいたま出張所**
〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パーキングセンター内4F

https://www.fuji-dynamics.co.jp/

人とクルマのためのエコ・パーキングシステム

日本信号の駐車場・駐輪場


ゲート式駐車場管理システム



ゲート式駐車場管理システム

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」
安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、
これからのパーキングシステムを考える日本信号。

ECO-PARKING

日本信号エコ・パーキングシステム

- ●QRコード駐車券
- ●省電力表示機器：ハーフLCD
- ●LED蛍光灯採用表示板
- ●太陽光発電駐車場・駐輪場


パークロック駐車場管理システム


サイクロック駐輪場管理システム


バイクロック駐車場管理システム


ゲート式自転車・バイク駐車場管理システム

日本信号株式会社

http://www.signal.co.jp/

■AFC事業部　AFC営業部
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング 13階)
PHONE:(03)3217-7373　FAX:(03)3217-7377

■大阪支社　交通システム営業部
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856　FAX:(06)6312-8597

■本　　社　〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1（新丸の内ビルディング13階）
PHONE:(03)3217-7200（代）　FAX:(03)3217-7300
■大 阪 支 社　〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4（大阪富国生命ビル）
PHONE:(06)6312-3851（代）　FAX:(06)6312-8597
■北海道支店　〒060-0002 札幌市中央区北二条西3-1（太陽生命ビル）
PHONE:(011)271-4161（代）　FAX:(011)221-1705
■東 北 支 店　〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13大和証券仙台ビル11F
PHONE:(022)261-8371（代）　FAX:(022)225-4627
■中 部 支 店　〒450-6640 名古屋市中村区名駅1-1-4（JRセントラルタワーズ）
PHONE:(052)[illegible] 2851（代）　FAX:(052)561-2878
■九 州 支 店　〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-30（山陽ホテルビル）
PHONE:(092)777-9175（代）　FAX:(092)714-8127

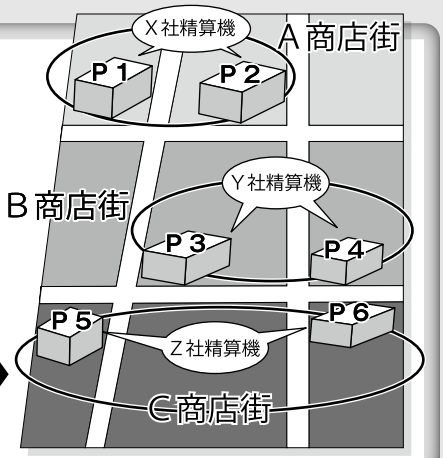
「全日駐規格○汎用（共通）サービス券」システム

～コンパクトシティ施策の推進・地域活性化に向けて～

現状の問題点

- **精算機メーカー毎に各社個別の磁気式サービス券を使う必要がある。**
- **メーカー共通の磁気式サービス券がないため、クーポン券式サービス券を有人対応で使用すると、24Ｈ営業・無人化が難しい。**

A、B、Cの各商店街は
それぞれ別々のサービス券
が必要です



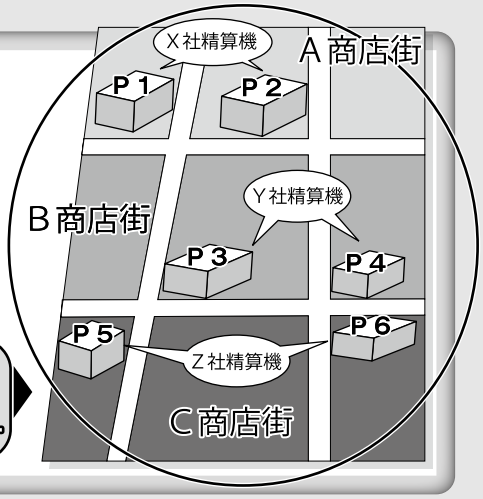
解決

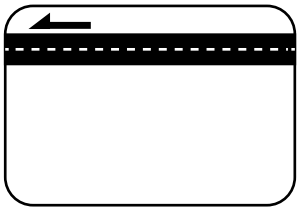
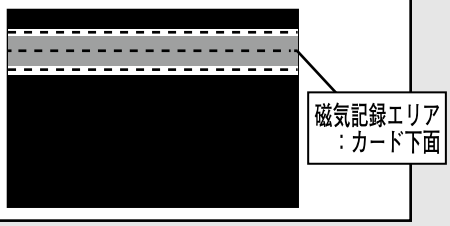
カードリーダーや
ソフトウェア改修等

共通サービス券システム

- **メーカーが異なる複数の精算機で、汎用（共通）で使える磁気式サービス券です。**
- **料金サービスを共通化できます。**
- **自動精算機がある場合、24Ｈ営業・無人化も可能になります。**

A、B、Cの各商店街で
発行したサービス券が
全ての駐車場で使用できます



現行仕様（制式スペック１）	追加仕様（制式スペック２）
ＪＩＳⅡ型相当品	ＪＩＳⅡ型相当品
カード上面に磁気記録層ストライプ	カード下面に磁気記録層全面コーティング
	

■お問い合わせ先

一般社団法人全日本駐車協会
ＴＥＬ 03(3528)8305

■対応精算機メーカー

アマノ株式会社	ＴＥＬ 045(439)1516
日本信号株式会社	ＴＥＬ 03(3217)7373
三菱プレシジョン株式会社	ＴＥＬ 03(6712)1732
株式会社サニカ	ＴＥＬ 055(284)2413

目　次

PARKING　No.２５６／２０２６・10

目　　次 ……7

□各地駐車協会総会報告 ……8
高松市駐車場協同組合

□駐車場コラム ……9
「駐車場について考えてみた」
宇都宮大学地域デザイン科学部　教授
大森　宣暁

□情報発信「アンテナ」(第29回)
「ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、駐車場を取り巻くトレンド　Vol.2」…12
モビリス・コンサルティング株式会社
代表取締役　木村　直子

□PARKING NOW ……31
■駐車スペースを「シェアサイクルステーション」に利活用
「シェアサイクルサービスHELLO CYCLING」
OpenStreet 経営企画室　広報　仙石　玲
・「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

□PARKING IN TOKYO ……34
■令和8年度第3回定例理事会のご案内
■委員会報告
■諸会議等報告

□事務局だより ……35
■令和8年度第3回理事会のご案内
■令和9年新年賀詞交歓会のご案内
■令和9年新春駐車場研修会のご案内
■令和9年春季駐車場研修会のご案内
■表紙説明
・表紙題材募集のご案内
・全日本駐車協会　会員メールアドレス提供のお願い
■新会員のご紹介
ヒイヅル株式会社
■委員会報告
■諸会議等報告
■会員動静

〔表　紙〕
チッタ・アルタ駐車場
表紙についてはP.35事務局だよりの表紙説明をご覧下さい。

PR
三菱プレシジョン株式会社 ……P1・P27
三菱地所株式会社 …… P2
日本駐車場救急サービス株式会社 ……P3・P29
株式会社富士ダイナミクス ……P4・P26
日本信号株式会社 ……P5・P30
公益社団法人立体駐車場工業会 …… P28

協会事業のご案内
「全日駐規格･汎用(共通)サービス券」システム …… P6
駐車場案内標識のご案内 …… P39

□各地駐車協会総会報告□

高松市駐車場協同組合　第22回定期総会報告

1．日　　時：令和8年5月25日(月)
　　午後3時30分より午後4時20分
2．場　　所：高松商工会議所会議室
3．出席人員：議決票人員
　　本人出席　　9名
　　委 任 状　　5名
　　欠　　席　　2名
　　計　　16名
　　会員　正会員　16名
4．議　　事
　第1号議案　令和7年度事業報告(案)並びに収支決算承認に関する件
　第2号議案　令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定に関する件
　第3号議案　令和8年度借入金残高限度額決定の件
5．総会報告
　事業報告
　今年度新たに取り組んだ事業
　・駐車場マップ作製
　・バーコード読取機購入
　事業計画
　・システム開発
　・駐車券用紙代対応
　・バーコード印刷機の検討

以上

高松市駐車場協同組合　役員名簿

令和8年5月25日現在

役職名	氏名	会社名等
理事長	辻　清州	㈱グランド劇場
副理事長	寒川　哲	㈲寒川総業
〃	池田靖夫	㈱多津美荘
理事	詫間敬芳	㈱高松大映劇場
〃	高　子輝	㈲平安閣
〃	石淵実佳	㈱イシブチ
〃	嶋　弘輝	古新町パーキング
監事	鎌野征輝	㈱スゥイング
〃	新名誠司	壽屋パーキング

駐車場コラム

■ 駐車場について考えてみた

宇都宮大学地域デザイン科学部　教授　大森　宣暁

１．はじめに

筆者は栃木県宇都宮市民である。自宅から職場までは約2km。歩いてもそれほど遠くない距離だが、子どもの送迎をしていた10年前からの習慣が抜けず、帰りにスーパーで買い物することもあるし、たまには市内外への出張もある、さらには猛暑や豪雨など、様々な理由にかこつけて、普段は自動車で通勤している。夜、飲み会があり、クルマを置いて帰った翌朝は、必然的に徒歩通勤となるが、最近は、運動不足解消のためにもできるだけ歩こうという意識はある。筆者の専門は都市交通計画である。これまで研究テーマとして駐車場を正面から扱ったことはあまりない。しかし今回、駐車場について考える機会を頂いたので、日頃の生活や仕事の中で感じていることを、あれこれ綴ってみたい。

２．自宅の駐車場

地方都市では、自宅の駐車場にクルマがあるかどうかで、その家の「在宅状況」がおおよそ判断できる。筆者のご近所でも、夫婦それぞれがクルマを保有している家が多い。そのため、2台とも駐車場にクルマがなければ「ご自宅は不在かな（お子さんだけ在宅の可能性はあるが…）」、1台だけなら「○○さんの家、ママはいるけど、パパはまだ帰ってないな」と推測できる。また、連休中に複数日に渡って大きい方のクルマがなければ、「家族旅行中かな」などと想像する。こうした推測はおおよそ当たっている。知人から聞いた話では、ある市の市議会議員は、自宅にクルマが停まっていると、「仕事してないなあ」と批判されることもあるという。筆者の自宅の駐車場は、舗装していないため、たまに草むしりをしなければならない。さらに、定期的に生長するハーブも切らないと、クルマの車体に当たらずとも、衝突防止の「ピーピー」音がうるさくて困る。お隣の家の駐車場は、2台のクルマが縦に並ぶ形になっている。そのため、奥のクルマを出す時には、手前のクルマをいったん動かす必要があり、たまに2台のクルマを入れ替える作業をしている「パパ」を見かける。お向かいの家は、クルマは1台だが、2台分の駐車スペースがある。ご近所で就職したお子さんが、自宅からクルマ通勤をするようになり、3台目の置き場所に困っていた方に、1台分を格安で貸しているようだ。

３．大学の駐車場

大学の駐車場は、基本的に通勤距離が2km以上の教職員が、有料の年間パスカードを購入して利用できる。最近は大学もお金がなくて困っているようで、今年、駐車料金が年間5,000円

から12,000円に値上げされた。学生の場合は、基本的に通学距離が10km以上50km以下で、公共交通を利用すると1時間以上かかる場合に許可される。例外的に、研究を進める上でどうしてもクルマが必要だと指導教員が理由書を提出することで、パスカードがもらえる場合もある。学生としては、友達と連れ立って昼食時にクルマで遠出ができるなどのメリットもあり、「僕の研究もクルマが必要なので、理由書をお願いします」という学生も、なかにはいるが…。筆者自身は、通勤してクルマを停めた後、講義まで数分の時間がある時には、車内で講義スライドの修正や課題提出用の学内システムの設定をしたり、出勤前に自宅で観ていたドラマの続きが気になって確認した後、研究室に寄らずに直接教室へ行くこともある。昨年、駐車場には太陽光パネルの屋根が設置された。猛暑の日や雨の日には、少し便利になった。どうせなら、主に学生が利用する駐輪場にも、同じように付けてあげればいいのに、と思う次第である。

４．商業施設の駐車場

コンビニエンスストアの駐車場も、筆者にとっては身近で重要な存在である。なぜなら、大学キャンパス内は(大学の駐車場に停めた車内を含めて)全面禁煙のため、通勤時、日中、帰宅時と、主に喫煙目的で一日に複数回お世話になっているからである。あまり公にできないかもしれないが、たまに買い物をしない時は、できるだけ入口から遠いところに、こっそり駐車することもある。しかし、バリアフリーの視点から考えても、入口付近の駐車スペースは、本当に必要な人が利用できるようにしておくべきである。また、毎度のちょっとした観測調査によれば、車内で食事をしたり、休憩したり、寝ていたりする人も少なくない。車内が快適であるからこその行動である(この夏の猛暑の時期、筆者のクルマは一か月間エアコンが故障していた…)。一方、前述のとおり、大学キャンパス内の駐車場は許可が必要なため、たまに学生が大学周辺のコンビニやドラッグストアの駐車場に長時間クルマを停めてしまい、苦情が届くこともある。

５．中心市街地の駐車場

駅付近や中心市街地のコインパーキングも、たまに利用することがある。宇都宮の中心市街地にも、コインパーキングや月極駐車場が沢山ある。県庁や市役所をはじめ、職場に駐車場がない中心市街地で働く人々にとっては、重要な存在のようだ。それでも、利用率がそれほど高くない駐車場もあり、筆者も以前、中心市街地のコインパーキングを2日程借り切って、まちづくりのイベントを開催したことがある。近年の物価上昇に伴い、東京と比較すればまだまだ安いとはいえ、最近はコインパーキングの料金も上がってきた。宇都宮ではLRT停留場の駐車場にクルマを停めてLRTを利用する、パークアンドライドの利用者もかなり多い。現在、パークアンドライド用駐車場の料金は無料であるため、駅周辺のコインパーキングに停めるよりも、LRTの往復運賃の方が安く済むことが、その要因の一つと思われる。

6．おわりに

娘の部活の遠征で、高校の駐車場や体育館の駐車場を利用することもある。先日の猛暑の日は、できるだけ日陰に駐車して、試合の合間には車内でエアコンを全開にして本原稿の執筆活動に従事した。大学の講義では、「人の一日の移動時間は、いつの時代でもどこの国でも平均して約1時間ちょっと（交通研究分野では、「旅行時間一定の法則（Travel Time Budget）」という仮説がある）。交通手段が全てクルマだったとしても、一日のうち23時間近くは駐車場に停まっていて、結構、都市の中の空間を占有しているんだよ」といった話をする。駐車場とは、クルマを保管するという本来の目的を果たす場所であると同時に、車内で多様なアクティビティを行う場所としても利用されている。そして、都市における様々な施設の駐車場では、多様な利用者の利便性を考慮した駐車スペースの配置やデザインも重要な要素であるし、需要の少ない期間や時間帯における有効活用も必要な視点であろう。電気自動車や自動運転をはじめとした車両そのものや、カーシェアなどのクルマの使い方については、筆者が学生の頃と比較すると技術の進歩は著しい。一方で、駐車場については、コインパーキングの運賃支払い方法などを除けば、あまり進展がみられないように感じる。都市の中で一定の空間を占め、人々のライフスタイルにも影響を与える駐車場。その未来の姿について、改めて考えてみる余地はありそうである。

情報発信「アンテナ」(第29回)

「ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、駐車場を取り巻くトレンド　Vol.2」

モビリス・コンサルティング株式会社　代表取締役　木村　直子

「ヨーロッパ駐車場アワード2025」の受賞駐車場として、1回目はハード面において先進的な駐車場事例を紹介しました。2回目となる本稿では、駐車場のソフトやシステムに関する事例を紹介します。

1．ヨーロッパの駐車場を取り巻くトレンド

ヨーロッパでは、EU委員会が制定する「持続可能な都市モビリティ計画 Sustainable Urban Mobility Plans(SUMP)」や「都市OS(City Operating System)」に関連するデジタル化をキーワードとして、道路混雑、大気汚染や騒音、気象変動、交通事故、路上駐車等の問題解決、新たなモビリティサービスによる生活向上等の分野で各国の公的支援が盛んになっており、駐車場アワードもこれに関連したソリューションが多く受賞する結果となっています。日本でも、国土交通省や富山県などが、日本版SUMPの意義の検討を開始しています。最新事例を参照することで、単なるデジタル化ではなく、その背景にある駐車場や交通を取り巻くトレンドが読み取れるのではないでしょうか。

本稿では、受賞事例の中から3カテゴリー(イノベーション、スマートモビリティ、サービスのデジタル化)で特徴的な事例を紹介します。

2．ヨーロッパ駐車協会 European Parking Associationの受賞駐車場

⑴駐車場におけるイノベーション

①ADRモビリティ、テレパス・パーク&チャージ/イタリア、ローマ

ローマ・フィウミチーノ空港におけるEV車のシームレスな駐車・充電：

テレパス社がローマ空港およびADRモビリティ社と共同で開始した「電気自動車(EV)およびプラグインハイブリッド車(PHEV)向けサービス」では、イタリア最大のローマ・フィウミチーノ空港で、完全デジタル化した駐車・充電サービスを提供します。

■完全デジタルの利用体験

サービスは2024年12月に開始され、利用者は、紙駐車券、アプリ、待ち行列無しで、駐車や充電を行うことができます。車番認識とテレパス車載器により、入庫から支払いまでの全プロセスを非接触で、迅速かつ効率的に行います。



■オールインクルーシブ料金

ターミナルへの最短アクセスの駐車とEV充電を一本化した料金を設定しています。





■戦略的な立地と利用可能台数

旅行者はターミナルへ直接アクセス可能です。(ターミナルT1およびT3の真正面に位置する立体駐車場Bの1階でサービス提供)。EV用駐車場74台分のうち32台分がテレパス利用者専用です。

■利用方法

到着車両は、テレパス車載器と車番認識により自動認識され、充電装置が起動します。認証アプリやボタン操作は不要で、出庫時はシステムが再び車両を認識し、駐車料金と充電料金を合算した総額を計算、利用者のテレパスアカウントを通じて料金決済します。

■主なメリット

1アカウント、1プラットフォーム、1枚の請求書で、駐車から充電までの全てがカバーされ、料金も明確です。また、テレパスの広範なモビリティ・エコシステムと統合され、EV車利用者向けにイタリア全土のさまざまな移動サービスへとの連携も期待されます。

■今後の展望

今後EV車の普及に応じて、パーク＆チャージのサービス需要の高まりが見込まれます。ローマ・フィウミチーノ空港からスタートした本実証は、他の交通量の多い拠点にも展開可能です。

②Arriveオランダ、都市全域・車両フリートを活用した駐車場の満空・施設情報データ収集(IoT)/欧米

Arriveのデータ・ドリブン(データ主導型)技術が都市モビリティを変革

■従来型駐車場データの限界を克服

多くの都市では、駐車場データの収集を未だに人や、物理センサー、決済記録によって行っているため、情報収集の効率が悪く、誤りが発生しやすいうえ、得られる情報も限定されます。こうした課題を解決するため、Arriveは「都市全域の正確な駐車データを完全デジタル形式で取得する独自技術」を開発し、過去2年間で、欧州および米国の都市で展開しました。

(導入都市：フリードリヒスハーフェン、ハイデルベルク(ドイツ)、ナンシー(フランス)、ヴァーヘニンゲン(オランダ)、オーフス(デンマーク)、コロンバス、デンバー、フィラデルフィア(アメリカ))





■スキャンカーと満空スキャナー：スマートなデータ収集

Arriveの技術は、スキャンカー(Scan Car)と満空スキャナー(Occupancy Scanner)という2つの技術を基盤としています。スキャンカーは、4Kカメラ、高精度GPS、車載処理システムを搭載した車両で、都市内を走行しながら道路沿いの環境を動画で撮影し、その映像処理により、駐車スペース、規制、標識などをマッピングします。従来型の調査よりも、迅速かつ正確に把握できます。満空スキャナーは、タクシーや配送車など、市内を走行する車両に設置され、通常業務の走行中にリアルタイム駐車満空情報を収集するため、新たなインフラ整備の必要が無く、都市全域の1時間ごとの駐車満空情報モデルを生成します。

■生データからスマートシティへ

本技術により、都市は駐車エコシステムの状況を動的かつリアルタイムに把握できます。データ活用により、自治体は旧来の手法から脱却し、正確なデータに基づく意思決定に移行できます。ドライバーが駐車スペースを探す時間が短縮されるため、排出ガス、燃料消費、渋滞の削減にも繋がります。EUが制定する「持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)」における重要な目標にも合致しています。

■公共空間のより有効な活用

駐車場のリアルタイム満空情報を把握することで、既存の駐車資産を最適化できます。利用率の低いエリアを歩行者空間や緑地へ転換することも可能となり、都市の活力向上につながります。また、ドライバーを混雑の少ないエリアへ誘導することで、交通流と空間利用効率も改善します。

■経済成長の支援

正確なデータにより潜在性の高いエリアを特定し、インフラ投資の判断材料を提供し、効果的な駐車政策を策定できるため、経済発展にも貢献します。

■拡張可能で都市ごとに最適化できるソリューション

Arriveのプラットフォームは、データ収集と分析を自動化するため、人力による調査や高額なハードウェアへの依存を最小限に抑えます。Arrive インサイト・プラットフォームを通じて情報提供され、各都市のニーズに合わせて調整可能な、柔軟で費用対効果の高いソリューションです。

■持続可能で住みやすい都市を実現

Arriveはテクノロジーを中心としたアプローチによって、都市が駐車をより効果的に管理できるよう支援します。モビリティを改善し、環境負荷を軽減し、より住みやすく持続可能な都市環境の実現に貢献します。

③Dukaten・SKIDATA、スマート・パーキング・ソリューションLinPark 2.0/スウェーデン、リンシェーピング

スマート・パーキングのイノベーション：SKIDATAのLinPark 2.0がリンシェーピング市を変革

■都市モビリティのための統合デジタル・ソリューション







都市がスマートで、環境に優しく、アクセスしやすい場所になることを目指す上で、駐車場は重要な役割を担います。スウェーデン南部の都市、リンシェーピング市の駐車場運営者であるDukaten社向けにSKIDATA社が開発した「都市全域を対象とする完全統合型スマート・パーキング・ソリューションLinPark 2.0」は、路上駐車、路外駐車、定期契約、予約、チケットレス決済、EV充電を一つの使いやすいプラットフォームに統合したデジタル・ソリューションです。

■1つのアプリでシームレスな利用体験

本システムは、住民、企業、来訪者の駐車や利便性を向上させます。簡単な登録と直感的なデザインにより、利用者は必要なサービスへすぐにアクセス可能で、駐車場所を探す時間を短縮、紙駐車券や物理的な決済を無くし、渋滞を緩和、排出ガスを削減します。EV車利用者は市内全域の充電ステーションを利用でき、リンシェーピング市のサステナビリティ目標を後押しします。アプリは厳格なプライバシー基準に準拠しており、第三者へのデータ共有は行いません。

■一元管理と、よりスマートな都市運営

現在、リンシェーピング市における駐車決済の約80％がLinPark 2.0を通じて行われています。このデジタル移行によって、Dukaten社は駐車利用パターンを一元的かつリアルタイムに把握できるようになり、都市計画、運営効率、状況への対応力が向上しました。全てのデータが市当局によって保持されることで、地域による管理監督が維持されています。

■多様な都市ニーズに対応した機能

LinPark 2.0は、様々な利用者に対応するため、利用者ごとに柔軟な機能を提供します。企業は駐車場予約や定期契約を容易に管理でき、不動産オーナーは分析データを利用し

て、スペース利用を最適化できます。学校や在宅介護サービス事業者は、安全性とアクセシビリティ向上の恩恵を受けられます。本システムによって渋滞を減らし、交通を円滑化し、より魅力的な中心市街地づくりを支援します。

■リアルタイムデータと空間のスマートな利用

一般車室、EV車室、バリアフリー車室を含むリアルタイム満空情報によって、ドライバーを空いているスペースへ誘導し、不必要な場内・市内走行と排出ガスを削減します。また、動的な利用制限によって、混雑エリアにおけるワーカーの長時間駐車を制限し、短時間利用者のためのスペースを確保します。これにより回転率が向上し、公共空間をより有効に利用できます。

■費用効率が高く、他都市にも拡張可

システムは、少人数のチームによって管理され、無駄の少ないクラウドベースのシステム上で稼働しており、インフラおよび保守コストを削減します。拡張性の高い設計により、他都市にも容易に適応でき、欧州およびその他の地域で再現可能なスマート・パーキングモデルを提供します。

■実証された成功と世界展開の可能性

システム利用者は、2022年1月のサービス開始以降、2024年末で20万人を超えました。デジタルイノベーションが日常生活を向上させ、都市運営を改善し、サステナビリティを促進できることを示しています。

■スマートな駐車モデル

安全でシームレスな利用体験を提供し、交通、排出ガス、都市環境の質に明確な効果をもたらすLinPark 2.0により、リンシェーピング市はスマート・パーキングの先駆者として位置付けられています。

⑵スマート・モビリティへのアプローチ

①APCOAドイツ、都市型ハブ・ゲンゼマルクト駐車場/ドイツ、ハンブルグ

ハンブルグ市、ダムトール城壁地区のスマート・モビリティ・ハブ

■都市イノベーションのモデル

ハンブルク市のクリスマスマーケットが開催されるゲンゼマルクト広場の「APCOA駐車場内のスマート・モビリティ・ハブ」は、都市モビリティの課題に対する先進的なソリューションです。2022年にダムトール城壁地区で始まった本プロジェクトは、十分に活用されていなかった駐車場インフラを、モビリティ、物流、持続可能な都市サービスを提



供する多機能空間として再構築するものです。さまざまなスマートシティ・アプリケーションを統合することにより、効率的で、相互につながり、環境にも配慮した交通ソリューションを推進しています。



■共同開発、各ニーズに合わせたサービス

プロジェクトは、地方自治体に加え、SIXT（レンタカー）、UPS、Mewa、DHL（物流）などの主要パートナーとの緊密な協力によって開発されました。各社が協力し、実際の利用ニーズに対応したユーザー志向のモデルを構築しています。例えば充電インフラは、これらステークホルダー固有の要件に対応するよう設計され、実用性と運用上の有効性を確保しています。

■テクノロジーの統合と多様なサービス

スマート・モビリティ・ハブの運営を支えるため、デジタルと物理的サービスを組み合わせて提供しています。具体的には、ラストマイル配送ゾーン、クリック＆コレクト機能（オンラインで商品を購入し、指定場所で商品を受け取る仕組み）を備えた宅配ロッカー、EV充電ステーション、デジタル・カーシェアリング・プラットフォームなどです。さらに車番認識機能を備えたスマート・ゲートシステムによってスムーズな入庫を実現しています。「APCOA Flow App（アプリ）」を利用すれば、駐車から決済までを完全にデジタル化でき、シームレスで直感的な利用体験を提供します。

■都市への効果とサステナビリティ目標

スマート・モビリティ・ハブは、ハンブルク市が掲げるスマート・モビリティと持続可能な都市開発という、大きな目標を積極的に支援しています。駐車、シェアード・モビリティ、eカーゴ物流を相互接続することで、交通効率を高め、環境負荷の少ない移動手段を促進します。また、自家用車所有の低減を促し、排出ガス削減と大気環境改善にも貢献します。代表例がUPSによる荷物配送へのeカーゴバイクの活用で、周辺地域の交通渋滞を大幅に削減しています。

■都市生活と経済活力の向上

サービスの中心部への集約により、住民、来訪者、企業にとり中心市街地の利便性と魅力が向上します。パートナー企業にとっては物流と業務効率を最適化するだけでなく、新しい収益機会も生み出します。地域企業は配送時間の短縮と歩行者通行量の増加というメリットを得られ、不動産所有者はデジタル駐車管理によるコスト削減効果を得られます。

■拡張性と長期的価値

本事例は、既存の都市インフラを21世紀のニーズに合わせて転用できることを示す好事例です。不要な移動を削減し、公共空間を解放するとともに、生活の質を向上させます。また、欧州にある100か所以上のAPCOA施設へ展開可能です。ゲンゼマルクトのスマート・モビリティ・ハブは、スマートシティへの転換を実現する強力なモデルケースとなります。

②Q-Parkオランダ、モビリティ・ハブ/オランダ、デン・ハーグ

Q-ParkとShellがデン・ハーグ市初のモビリティ・ハブを開設





2023年10月18日、Q-Park オランダとShellリチャージ(ShellのEV充電ネットワーク)は、デン・ハーグ市の「アムステルダム・ヴェールカーデ(アムステルダムからの貨物の乗り換え地点)」に、両社初となる「モビリティ・ハブ」を開設しました。本施設は、駐車、EV充電、シェア・モビリティ、日常生活サービスを組み合わせたもので、デン・ハーグ市が掲げるサステナビリティ、住みやすさ、モビリティ転換の目標を支援しています。

■都心インフラを再構築

既存のQ-Park施設を、都市空間をより有効に活用するための多機能スペースへと転換しました。EV充電器と急速充電器に加え、キオスク、ドライクリーニング・ランドリーサービス、宅配便受取サービス、シェアe-bike、シェア・スクーターなどが導入されています。老朽化した印象だったアムステルダム・ヴェールカーデ側の正面入口も、大きなガラスパネルを用いて近代化しました。これにより、開放的で人を迎え入れるような街路景観をつくり出し、エリアの美観と公共空間としての印象の双方を改善しています。

■都市モビリティ計画との戦略的な整合

モビリティ・ハブは、デン・ハーグ市の「持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)」と整合しています。同計画は、路上駐車を減らし、徒歩や自転車などのアクティブな移動を支援し、クリーンな交通手段を促進することを目的としています。多くの都市で低排出ゾーンが導入される中、このようなハブは環境負荷を最小限に抑えながら、人々が中心市街地へアクセスできる環境を確保します。従来型の駐車場をスマートで多用途なモビリティセンターへ進化させるというQ-Parkの幅広い戦略は、こうした都市の目標を合致したものです。

■誰にとってもスマートで便利なサービス

Shellのベネルクス・フランス地域交通関連ゼネラルマネジャーであるJeanine Bakx氏は、このハブが使いやすさと効率性を重視して設計されていると説明しています。利用者は、自動車を充電し、その間にShellカフェでコーヒーを飲み、さらに日常の用事を済ま

せることができます。これらを一つの場所で行えます。重要なのは、多くの利用者が自動車を駐車するためではなく、シェア・モビリティやその他のサービスを利用するためにこの施設を訪れていることです。そのため、この空間はより幅広い人々に開かれ、多様な都市ニーズに対応する施設となっています。

■電動モビリティの普及を加速

ハブにはAC（交流）充電器とDC（直流）急速充電器の両方があります。急速充電では、30分未満で車両を80％まで充電することができ、利用しやすいよう専用の入口も設けられています。通常充電器は立体駐車場内部に配置されています。Q-Parkオランダのゼネラルマネジャーであるマイケル・テンゲ氏は、EV充電インフラへの需要が高まっていること、そしてその需要に応えるためShellと長期的なパートナーシップを構築していることを強調しています。さらにシェア・モビリティサービスを組み合わせることで、人々が都市内を効率的かつ持続可能な方法で移動できるよう支援しています。

■今後の展開

デン・ハーグ市のモビリティ・ハブは、ShellとQ-Parkがオランダの主要都市で今後展開を予定している複数のモビリティ・ハブの第1号です。環境に優しく、スマートな都市交通を実現するための、拡張可能なモデルとなっています。

③ Q-Park英国、マイクロモビリティ・ハブ/英国、ロンドン

■ロンドン市における持続可能な都市モビリティ

都市が成長するにつれて、都市部では交通渋滞、環境汚染、そして持続可能な交通手段の必要性による圧力がますます高まっています。これに対応するため、ロンドン市内の渋滞税（Congestion Charge）や超低排出ゾーン（ULEZ：排出ガス基準を満たさない車両に対して料金を課す規制）などの施策が導入されています。こうした移行を支援するため、Q-ParkはE-バイクのPORTと提携し、オックスフォード・ストリート、クィンズウェイ、レスター・スクエアなどの戦略的拠点にマイクロモビリティを導入しています。これらの「Q-Park モビリティ・ハブ」は、住民、企業、環境のすべてにメリットをもたらすラストマイル配送ソリューションを提供しています。

■ロンドンにおけるQ-Parkの役割

Q-Parkは2011年からロンドンで事業展開しています。ウエストミンスターでは14か所の駐車施設を運営し、通勤者、観光客、地域住民に、中心部の4,000台以上の安全な駐車スペースを提供しています。サステナビリティを重視し、これらの施設全体に170基のEV充電ポイントを設置しており、よりクリーンな都市交通に対するQ-Parkの取り組みを強化しています。

■Q-Parkモビリティ・ハブ

これらのハブは、駐車場にシェア・モビリティサービス、EV充電、自転車保管施設を統合しています。グリーンエネルギーを支援するよう設計され、EV急速充電器を設置するとともに、自家発電したエネルギーの蓄電についても検討しています。また、eデリバリー車両用スペース、宅配ロッカー、小売・コワーキングサービスなどのための空間も提供しています。これによって柔軟な多目的環境をつくり、都市の交通渋滞を軽減します。



■都市物流とeモビリティ

eコマースの拡大によって、効率的なラストマイル配送への需要が増加しています。Q-ParkはPORTと提携し、e-バイク、フリート管理ソフトウェア、充電、駐車、メンテナンスを一体化したマイクロ・モビリティサービスを提供しています。サブスクリプションモデルによって、個人の配達員と物流企業の双方にサービスを提供し、運営コストと化石燃料への依存を低減させ、1兆ポンド規模で急速に成長している分野において、クリーン物流への移行を加速させています。



■Portの統合型配送システム

Q-Parkモビリティ・ハブ内におけるPORTのオペレーションは、配達員にシームレスな利用体験を提供します。施設へのアクセスはQRコードが使用され、ハブは24時間365日稼働しています。配達員はいつでもフル充電されたe-バイクを利用し、返却することが可能です。第4世代e-バイクドックなどの独自ハードウェアによって、安定した運用が行われています。

夜間充電と長距離対応バッテリーによって配送効率を高めるとともに、郊外に住む労働者も配達ネットワークへ参加できるようになるため、労働力の拡大にも貢献しています。



■パートナーシップのメリットと地域社会への効果

Q-Parkは、未利用スペースにマイクロ・モビリティサービスを導入することで、その空間を最大限活用し、サステナビリティを促進しながら収益を生み出しています。配送用バンをe-バイクに置き換えることで、排出ガス、騒音、交通渋滞を削減し、クリーンな空気、安全な道路、健康的な地域社会の実現に貢献します。また、これらのハブは活動的な

ライフスタイルを支援し、ロンドン市の長期的な環境目標にも整合しています。

■結論

PORTとの戦略的な協力を通じ、Q-Parkは都市モビリティを変革しています。拡張可能なモビリティ・ハブは、世界の都市における持続可能で効率的な物流のモデルを提示しています。

⑶サービスのデジタル化

①Arivoオーストリア、Road2Park45・WIPARK駐車場のデジタル化/オーストリア、ウィーン

ArivoによるWIPARK 45駐車場のデジタル化

ウィーンで最も歴史のある駐車場運営会社であるWIPARK Garagen社は、大規模なデジタルトランスフォーメーションを実施しました。Arivoとの提携によって45箇所の駐車場を近代化し、1つのデジタルシステム「WIPARK45」に統合しました。これにより運営業務を効率化するとともに、顧客体験を向上させています。





■すべての利用者に1つのポータル

プロジェクトの中心となるのがArivo カスタマー・ポータルです。短時間利用者と長期契約利用者の双方が、ワンストップですべての駐車サービスを管理できます。顧客はオンラインで登録し、車番情報と支払情報を入力すれば、すぐにどのWIPARK施設でも利用可能です。

■書類手続き、待ち時間無し

長期契約もポータルを通じて申し込むことができ、ポータル自体が完全なセルフサービス拠点として機能します。利用者はいつでも、車番情報、支払方法、連絡先情報を変更できます。料金はすべて自動的に請求され、請求書も利用者自身がダウンロード可能です。

■分断されたシステムから完全デジタルへ

従来、WIPARK社は長期契約駐車と短時間駐車を別々のシステムで管理していました。そのため、業務フローが非効率的であり、新規利用開始までに時間がかかり、大量の手作業が必要でした。契約処理には最大1時間かかることもあり、スタッフの業務負担を増やし、顧客にもストレスを与えていました。新システムは、こうした非効率性を解消しました。既存顧客データを移行し、車番認識カメラを設置し、ArivoプラットフォームをWIPARK社の業務フローに合わせて構築しました。そして2024年12月1日、45箇所すべての駐車場でデジタルプラットフォームを同時稼働させました。

■短期間で効果が

導入効果は顕著で、サービス開始からわずか3か月で、WIPARKの登録利用者数は70％増加しました。追加マーケティング費用は一切かけていないのにも関わらず、初月の売上高は前年同月比50％増加しました。顧客満足度も向上しています。24時間365日オンラインでアクセスでき、利用者はこれまでにない柔軟性と利便性を体感しています。直感的なインターフェースによって登録を促進し、これまでは匿名だった短時間駐車利用者を、継続利用する顧客へと転換させる効果があります。

■スタッフの業務効率向上

管理業務の負担も大幅に低減しました。以前は何時間もかかっていた作業が、現在では自動的に処理されています。スタッフは質の高いサービスの提供に集中できるようになりました。一方、Arivoの管理画面からは、リアルタイムに顧客情報を把握できるため、問題にも迅速に対応できます。

■新しい基準を確立

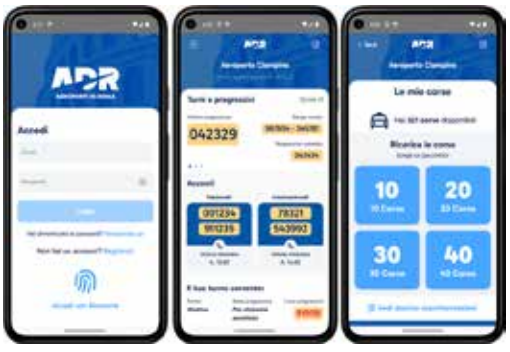
本プロジェクトは単なるデジタル化でなく、利用者に優しい駐車体験とはどのようなものかを再定義するものです。数多くの細やかな改善の積み重ねにより、ウィーン市のデジタルパーキングの新しいベンチマークが構築されました。

②ADR Mobilityイタリア、Taxi Fly/イタリア、ローマ

■Taxi Fly：ローマの空港におけるタクシーサービスのデジタル化

ADRモビリティ社は、ローマのフィウミチーノ空港とチャンピーノ空港におけるタクシー管理を、「Taxi Fly」と呼ばれる完全デジタルシステムによって変革しました。このシステムは業務効率を改善するとともに、タクシードライバーと乗客双方の利用体験を向上させます。Taxi Flyは、タクシーの長い待ち時間や非効率な配車という課題を解決するために開発されました。ADR社の駐車管理システムと統合され、車番認識、デジタルチケット、航空便の到着データを活用して、一連の業務を効率化しています。タクシーはモバイルアプリを通じて、また待機用駐車場へ入場した際に自動的に、待ち行列の順番を示す番号を受信します。登録から乗客の乗車まで、すべてのプロセスがデジタルで追跡されるため、紙による事務処理と人的ミスが無くなります。





■タクシー入場を完全自動化

タクシーの入場は完全に自動化されています。車番認証を利用し、有効なタクシー営業許可と勤務シフトの状況を確認します。認証されたタクシーは自動ゲートを通って入場し、順番待ちチケットとアプリによる通知を受け取ります。システムは各タクシーの位置をリアルタイムで追跡します。さらに、航空便のETA(到着予定時刻)データと連携し、需要の増加が予測される場合には、あらかじめタクシーを呼び戻すことができます。これにより、市内にいるドライバーは、空港へ戻って待ち行列に加わるまでに要する最大70分の時間が有効に使えます。

■空港ターミナルでの乗車

空港ターミナルのタクシー乗り場では、デジタル表示盤が次に利用可能なタクシーと乗車レーンを割り当てます。これによって透明性と公平性の高い仕組みをつくり、待ち時間と混乱を減らします。タクシーが乗客を目的地まで送り届けた後も、勤務時間内であれば再び待ち行列に加わることができます。すべての手順は記録され、追跡可能になっています。

■8,900人以上のドライバーが利用するアプリ

Taxi Flyアプリは8,900人以上のドライバーに利用されています。アプリには、セキュアなログイン、待ち行列状況の更新、遠隔からのリクエスト、支払い、各種通知などの機能があります。これにより、ドライバーは勤務シフトを計画しやすくなり、無用に待機する時間を最小限に抑えられます。このシステムは、待ち時間の短縮、交通流の最適化、乗客満足度の向上を実現するとともに、継続的な改善に利用できる有益なデータを提供します。そして、空港タクシー管理における新たなベンチマークを確立しています。

③APCOA英国、バリアレス乗降場/英国

■空港の乗降場を革新：APCOA UKのゲートレス・カーブサイド課金ソリューション

APCOA英国は、「ターミナル前降車レーンソリューション(車番バリアレス Terminal Drop Off Zone Charging Solution、TDOC)」によって、空港ターミナルでの降車を変革しました。このシステムは、ロンドン・ヒースロー、ルートン、スタンステッドを含む英国の主要空港に導入されており、さらにマンチェスターおよびイースト・ミッドランズへの展開も計画されています。2024年7月にルートン空港で開始されたこの革新的な完全デジタルシステムは、物理的なゲートをなくして車両の流れを効率化することで、効率性、



利便性、サステナビリティを向上させています。



■Microsoft Azure上のクラウドプラットフォーム

本ソリューションは、Microsoft Azure上で稼働するAPCOAのクラウドベースのParkwayプラットフォームを使用しています。システムには、車番認識カメラ、複数の決済方法、デジタル割引管理、データ共有インターフェースが統合され、シームレスな決済照合を実現します。APCOA独自の車番認証システムは、車両検知から支払処理、さらには第三者による債権管理まで、すべてを管理します。

■ゲートレス化による効果

本システムによってドロップオフ(送車)とピックアップ(迎車)が迅速になり、待ち時間と車両渋滞を大幅に削減し、大気環境が改善するとともに、ドライバーと歩行者の安全性も向上します。物理的なゲートと現金支払いを無くすことで、空港は運営コストを削減できます。さらに、車両の待ち行列によって生じていた収益損失も抑制できます。

■1日110万件以上の車番データ処理

APCOAはデータセキュリティを重視しており、ISO27001、ISO22301、Cyber Essentials+の認証を取得しています。システムでは、1日110万件以上の車番読取りデータを処理しています。2023年には、ヒースロー空港で2,300万枚以上の画像を処理し、800万件以上の有料利用を処理しました。この複雑かつ完全統合されたソリューションは幅広く採用され、顧客体験の改善と空港の環境目標への貢献という点で高い評価を受けています。APCOA 英国のゲートレス・カーブサイド課金プロジェクトは、デジタルイノベーションが空港駐車を革新し、サステナビリティを向上させ、業界の新しい基準を確立できることを示す先進事例となっています。

⑷おわりに

9つの事例から、「持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)」をキーワードとして、ヨーロッパの各都市において、様々なデジタル化ソリューションが導入されている様子が見て取れます。デジタル化に共通していた視点は以下のようなものです。

■駐車＋αの一体化

EV充電、物流、シェアモビリティ、生活サービスを駐車場に統合

■ゲートレス／チケットレス

車番認証・アカウント決済により、入出庫と課金を背景処理化

■都市単位のデータ基盤

単独施設ではなく、市全域の満空・利用・規制情報を統合

■既存資産の再編集

未利用区画や既存立体駐車場をモビリティハブ・物流拠点へ転換

■運営DXから収益DXへ

省人化に加え、顧客ID化・CRM・新サービスで売上機会を拡大

ヨーロッパ駐車協会の受賞事例を読み解くと、駐車場は単なる「クルマを停めるための単独施設」ではなく、都市のモビリティを支える重要なインフラの一つへと役割を広げていることが分かります。今後の駐車場計画においては、施設単体の利便性や運営効率だけでなく、公共交通、EV、シェアモビリティ、物流などの多様な交通サービス、さらには都市全体のデータ基盤との連携を視野に入れることが重要になります。

「駐車場をどう整備するか」から、「駐車場を都市のモビリティの中でどう活かすか」へ。今回の9つの事例は、これからの駐車場のあり方を考えるうえで、多くの示唆を与えてくれるものとなりました。

PR

駐車場から日本を変える

料金精算システム・工場入退システム・車路管制システムなど
お客様に最適なパーキングシステム
ソリューションをご提案します



Parking Solution
駐車場ソリューション

- ゲート式駐車場システム
- 車番チケットレスシステム
- 駐車場Web決済システム
- ETC多目的利用システム
- 車両用セキュリティゲートシステム
- コインパーキング向けシステム
- 車路管制システム
- 在車感知センサー
- AUTOSTAND ーデジタル入庫制御ー

※AUTOSTANDは林テレンプ㈱の登録商標です

For Motorcycle & Bicycles
駐輪場向けサービス

- 自転車・バイク用駐輪システム

Others
その他のサービス

- 解けルモ ー遠赤外線融雪装置ー
- ドライビングシミュレータ事業

FDC 株式会社富士ダイナミクス

● **本社 / 中目黒サービスセンター**
〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL（代表）:03-3793-5411
TEL（中目黒サービスセンター）:03-3793-5416

● **営業本部（パーキング営業統括部 / パーキングシステムソリューション部）**
〒153-0043 東京都目黒区東山1-4-4 目黒東山ビル4F
TEL:03-3793-7411

● **西日本営業所（パーキングシステム営業 / ドライビングシミュレータ）**
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL:06-6325-2761

● **西日本営業所 福岡営業部（パーキングシステム営業）**
〒812-0035 福岡県福岡市博多区中呉服町3-10 勝治呉服町ビル
TEL:092-282-3491

● **仙台営業所（パーキングシステム営業 / 機械式駐車場設備）**
〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢1-11-21
TEL:022-244-5461

● **名古屋営業所（パーキングシステム営業）**
〒467-0868 愛知県名古屋市瑞穂区大喜新町1-2-6 ロイヤル牛巻第12階
TEL:052-883-0700

● **湘南事業所（ドライビングシミュレータ）/ 保守技術部 湘南サービスセンター**
〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎662-2
TEL（代表）:0467-45-6867
TEL（湘南サービスセンター）:0467-47-8901

● **横浜サービスセンター**
〒220-8129 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 29階
TEL:045-224-2256

● **丸の内サービスセンター**
〒100-6806 東京都千代田区大手町1-3-1「JAビル」6階
608区
TEL:03-3287-0594

● **羽田サービスセンター**
〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-2 東京国際空港
第1旅客ターミナルビル 三菱プレシジョン株式会社 内
TEL:03-5756-7245

● **東京ベイサービスオフィス**
〒279-0012 千葉県浦安市入船一丁目5番2号 プライムタワー新浦安
515号室
TEL:047-313-9800

● **相模原サービスセンター**
〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-3-14 大河原ビル
201号室
TEL:042-730-6611

● **さいたま出張所**
〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パーキングセンター内4F

https://www.fuji-dynamics.co.jp/

PR

これからの都市パーキングに、
三菱プレシジョン。



ロック板システム

小スペースでの駐車場運営に最適なシステムです。
規模に合わせたシステムをご用意します。

DSRC システム

駐車場出入口上に専用のアンテナを設置し、登録済みの DSRC 車載器搭載車両がくると自動でゲートが開きます。

車番認識システム

駐車場出入口に設置したカメラでナンバープレート内の情報を記録。情報は文字データとして PC 管理できます。

駐輪システム

自転車・バイク両方の駐輪システムをラインナップ。
車両をロックやチェーンで個別に管理して 1 台の精算機で集中管理するシステムと、出入口をゲートで管理する 2 種類のシステムをご用意。
駐輪場の規模や立地環境に合わせたシステム構成をご提案します。

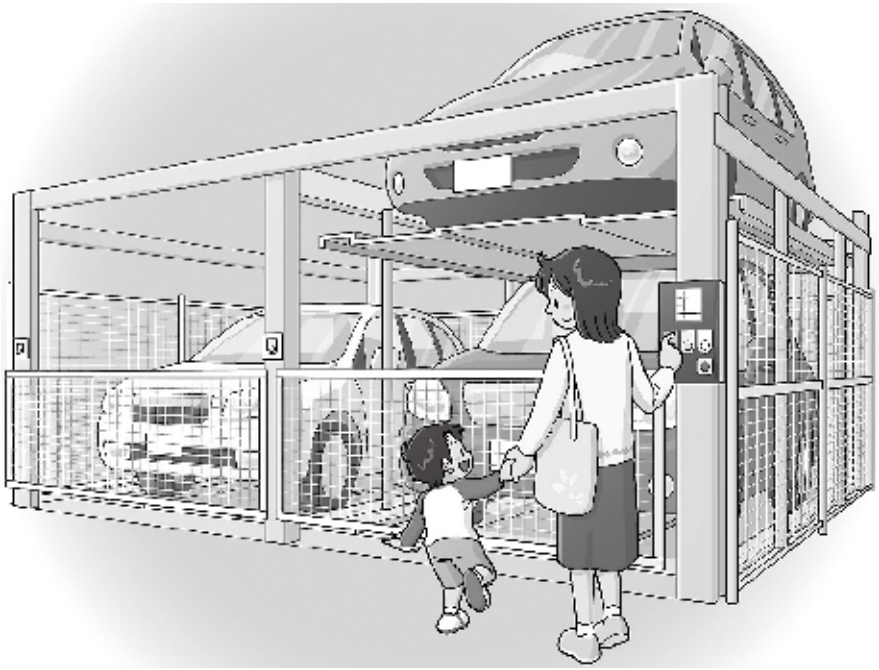
＊駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく
三菱プレシジョン株式会社
本社・営業本部
〒108-0075　東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川8階
https://www.mpcnet.co.jp

お問合せ先
駐車場システム営業部　03-6712-1732
中部支社　052-961-3557
関西支社　06-6484-7206
北海道営業所　011-213-7826
東北営業所　022-216-4615
静岡営業所　054-204-4505
中四国営業所　082-546-2176
九州営業所　092-273-0880

PR

公益社団法人 立体駐車場工業会は、平成27年1月から施行されました新大臣認定制度の登録認証機関です。



公益社団法人 立体駐車場工業会とは－

平成27年1月1日施行の駐車場法施行規則の認証機関として登録されました。

大臣認定制度に規定された「安全機能に関する基準」をクリアする当工業会が定めた「機械式駐車装置の安全機能に関する認証基準」に基づき、審査・認証を厳格に実施してまいります。

その他、従来審査・認定をしていました車いす使用者対応等の認定も行います。

「安全で便利で信頼性の高い駐車場の提供」これが当工業会の願いです。

人にやさしい機械式立体駐車場の普及に努めています。

公益社団法人 立体駐車場工業会
Japan Parking System Manufacturers Association Incorporated
〒104－0033 東京都中央区新川二丁目9番9号 SHビル6階
TEL.(03)5542－0733 FAX.(03)5542－0735
ホームページ　https://www.ritchu.or.jp/

あらゆる駐車場に対応した総合メンテナンス会社

日本全国　24時間365日　大小問わず　合理的な料金でOK‼

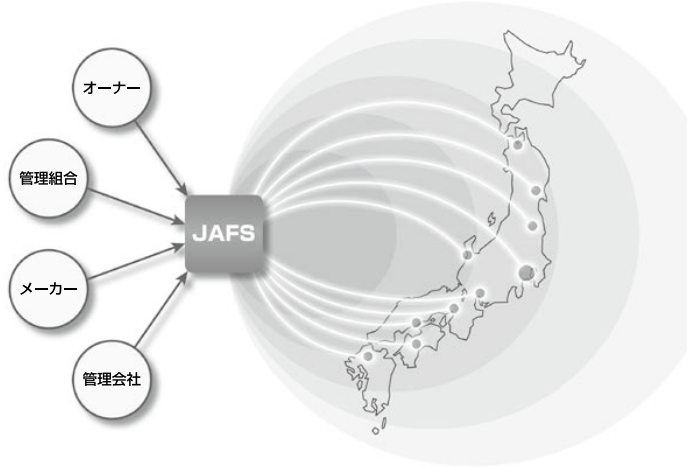
日本駐車場救急サービス株式会社

当社は、平成5年12月、駐車場関係諸官庁、団体、メーカー等のご要請により、業界の健全な発展のため、自動車業界のJAFを模して、駐車装置の保守サービス専門会社として設立されました。当社は日本全域24時間体制のもと、合理的な料金で対応できるネットワークで構築されております。
業務の内容は、定期メンテナンス（点検、調整、給油）24H故障対応、補修工事などを行います。

JAFSのアフターサービスシステムは、単なるメンテナンス工事の下請けではありません。
アフターサービス、メンテナンスのデータを収集・分析して、的確にフィードバックし、機器の改善、開発、更にはリプレースにも貢献します。
貴社のアフターサービス活動そのものをお引き受けするアウトソーシングシステムです。

■会社概要

社　　名	日本駐車場救急サービス株式会社
代 表 者	代表取締役　森井　清
設　　立	1993年（平成5年）12月
資 本 金	2,000万円
社 員 数	40名
事業内容	1.駐車場、駐輪場設備の保守管理及び緊急出動 2.駐車場、駐輪場の遠隔監視及び警備 3.駐車場、駐輪場の建設及び修繕工事 4.駐車場、駐輪場の運営管理
機械器具設置工事業	東京都知事許可　第104599号
警備業認定	東京都公安委員会　第2380号
支　　店	大阪 大宮 金沢 福岡 名古屋



定期メンテナンス



点検、調整、給油

補修工事



定期点検で
発見された不具合を
迅速に補修、修理

緊急出動



２４時間体制で
スタッフが徹底監視！
お客様のご要望に合った
各サービスステーションへ

全国実績及びサービスステーションネットワーク（2011.1.1 現在）

全国実績

東北地区	10件	250 パレット
関東地区	2,300件	58,000 パレット
中部地区	200件	6,000 パレット
関西地区	300件	10,000 パレット
中国・四国地区	150件	3,500 パレット
九州地区	100件	2,500 パレット

合計 約3,060件　約80,250パレット

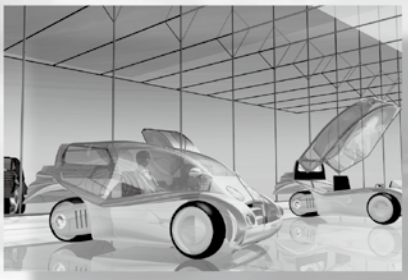
一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9　TEL.03-3663-1755　FAX.03-3663-1750　URL.https://www.jafs99.co.jp/

日本信号は、「安全と信頼」のテクノロジーをもとに、
より快適な交通社会の実現を
これからも目指し続けます。







日本信号株式会社
NIPPON SIGNAL
www.signal.co.jp/

■AFC事業部　AFC営業部
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)
PHONE:(03)3217-7373　FAX:(03)3217-7377
■大阪支社　交通システム営業部
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856　FAX:(06)6312-8597
■北海道支店　■東北支店　■中部支店　■九州支店

✦ PARKING NOW ✦

■ 駐車スペースを「シェアサイクルステーション」に利活用「シェアサイクルサービスHELLO CYCLING」

OpenStreet 経営企画室 広報 仙石 玲

1、シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」について

OpenStreet株式会社が展開しているシェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」は、スマートフォンアプリを使って電動アシスト自転車を利用できるサービスです。北海道から沖縄県まで全国29都道府県260自治体（2026年7月時点）にステーションを設置しサービスを展開しています。レンタサイクルと異なり、アプリの地図上にあるステーション（自転車を借りたり返したりできる場所）ならいつでもどこでも貸出と返却が可能で、借りた場所とは別の場所に返す（片道利用）ことができます。

アプリのダウンロードはこちら





HELLO CYCLINGで展開している電動アシスト自転車の一例

自転車の後輪にはスマートロックが設置されており、利用者はスマートフォンの操作で開錠します。スマートロックには通信機器が搭載され、遠隔で自転車の位置情報などを確認することが可能です。

HELLO CYCLINGのステーション（専用駐輪場）数は全国15,000カ所（2026年7月）を超え、自転車が煩雑に返却されることを防ぐため、各ステーションには最大駐輪可能台数分のラックを設置しています。さらに各ステーションにはビーコンと呼ばれる通信機器が設置されていることで、すでに満車のステーションに自転車を返却した場合、返却処理が完了されない仕組みとなっています。



自転車に設置されているスマートロック



自転車の開錠



ステーションのラック

２、不動産や駐車場事業者との取り組みについて

「HELLO CYCLING」は水平分業型の地域パートナーモデルにより、全国各地で事業を行う約95社の企業が「パートナー企業」として、シェアサイクル事業を展開しています。パートナー企業のなかには、駐車場の管理・運営などを行う「大和ハウスパーキング株式会社」や、「三井不動産リアルティ株式会社」がHELLO CYCLINGに参画し、自社の駐車場やコインパーキングの一部にHELLO CYCLINGのステーションを設置しています。



大和ハウスパーキングに設置されたステーション



三井のリパークに設置されたステーション

土地オーナー様へお支払いする賃料は、個社別に異なりますが、ステーション設置場所や駐輪可能台数、さらにステーションの利用回数に応じて変動します。駐車スペースを確保できないものの自転車の駐輪スペースを確保できるケースも多く、駐車場のオーナー様からご相談をいただき、実際にシェアサイクルステーションの設置を行うケースが増えています。

当社は全国29都道府県260自治体と協定を締結し、自治体の公有地（役所や体育館、公園など）にステーションの設置を行っています。利便性の高い公共施設にステーションを設置することで、シェアサイクルの利便性が向上し、周辺の民間地にもステーション設置が進んでいます。



自治体との協定締結（2025年10月 神奈川県厚木市）

3、OpenStreetはシェアサイクルの用地を募集しています

OpenStreetでは、HELLO CYCLINGのステーションを設置する用地を募集しています。
ステーション設置にあたり初期費用や運用費用、工事は必要ありません。

・遊休スペースの活用で賃料収入
・物件の価値向上
・放置自転車や違法駐輪対策
・環境への配慮

などシェアサイクルのステーション設置には様々なメリットがあります。



ステーション設置にご興味がありましたら、ぜひお問い合わせください。
お問い合わせフォーム
https://www.openstreet.co.jp/contact/pf_owner

用地募集に関する
詳細はこちら

「PARKING　NOW」掲載情報提供のお願い

事務局では皆様から「PARKING　NOW」に掲載する情報の提供を募集しています。
以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。
・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等会員に参考になる情報
・駐車場に関連する各種トピックス
・駐車場を取り巻く自治体の動き
など

《連絡先》
一般社団法人全日本駐車協会　☎　03-3528-8305
e-mail : info@japan-pa.com

PARKING IN TOKYO

一般社団法人東京駐車協会

■ 令和8年度第3回定例理事会のご案内

「第3回定例理事会」

開催日：令和8年11月24日(火)16時～(予定)

場　所：日本工業倶楽部会館4階第4会議室(予定)

懇親会：同会館3階中ホール(予定)

■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました。

「標識管理委員会」

開催日：令和8年8月6日(木)

方　法：書面開催

議　題：令和7年度取組実績
令和8年度取組状況
全体傾向
令和8年度道路占用料
今年度の重点事項

■ 諸会議等報告

○その他の会議等が下記の通り開催されました。

＜東京都都民安全総合対策本部 ＞

・第24回東京都安全・安心まちづくり協議会総会
令和8年7月10日(金)　オンライン

＜大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会＞

・大手町・丸の内・有楽町地区地域ルール運営委員会(第85回)
令和8年7月27日(月)　大手町ビル

＜大手町・丸の内・有楽町地区地域ルール策定協議会＞

・大手町・丸の内・有楽町地区地域ルール策定協議会(第46回)
令和8年10月5日(月)　大手町ビル

以上

― 事務局だより ―

■ 令和8年度第3回理事会のご案内

□日　　時　令和9年1月22日(金)15時30分～17時(予定)
□場　　所　日本工業倶楽部会館5階第6会議室(予定)

■ 令和9年新年賀詞交歓会のご案内

□日　　時　令和9年1月22日(金)17時～18時30分(予定)
□場　　所　日本工業倶楽部会館3階大ホール(予定)
□そ の 他　東京駐車協会との共催

■ 令和9年新春駐車場研修会のご案内

□日　　時　令和9年2月5日(金)13時30分～16時30分(予定)
□場　　所　オンライン研修
□参 加 費　無料
□そ の 他　東京駐車協会との共催

■ 令和9年春季駐車場研修会のご案内

□日　　時　令和9年3月5日(金)(予定)
□場　　所　未定
□参 加 費　未定
□そ の 他　東京駐車協会との共催

■ 表紙説明

【チッタ・アルタ駐車場】

前号255号で掲載した「チッタ・アルタ駐車場」は「ヨーロッパ駐車場アワード」の新しい駐車場施設の分野で2025年にベストパーキング賞を受賞しました。「歴史都市が現代の都市課題にどのように対応すべきか」を示すモデルケースで、この施設は、都心部への自家用車流入削減、都市物流との融合、生活の質の向上といった長期的目標を支援すると同時に、貴重な歴史遺産、景観資源を守る役割も担っています。

詳細については、情報発信「アンテナ」(第28回)「ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、駐車場を取り巻くトレンド Vol.1」(機関誌255号P.53)をご参照下さい。

<表紙題材募集のご案内>

事務局では、機関誌「PARKING」に掲載する表紙題材の提供を募集しています。以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等

・駐車場に関連する新築ビル、商業施設等

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会　☎　03-3528-8305　e-mail : info@japan-pa.com

<全日本駐車協会　会員メールアドレス提供のお願い>

当協会から会員の皆様宛の情報発信手段は、年4回の機関誌PARKING・ホームページ及び郵送に加えて、タイムリーかつ確実に行える連絡手段としてメールを活用しています。

メールアドレス未登録の会員の方は、ご担当者及びメール配信希望者のメールアドレス等をご提供いただきたくお願い申し上げます。記入票等につきましては下記担当者までお問合せ下さい。

一般社団法人全日本駐車協会事務局

☎　03-3528-8305　FAX：03-3528-8306

e-mail：member@japan-pa.com

担当:山ノ井、船津

■ 新会員のご紹介

ヒイヅル株式会社

■会社紹介

所在地：〒422-8008　静岡市駿河区栗原7-4　2階

代表取締役：名古屋　健

会社紹介：https://www.heazl.co.jp/

お問合わせ：https://heazl.form.kintoneapp.com/public/public-inquiry-form

■事業紹介

ヒイヅル株式会社は、2013年の設立以来、工事不要の防犯カメラ・監視カメラのレンタルサービスを展開しています。カメラ本体に4G通信機能と録画機能を内蔵しているため、Wi-Fi環境の整備や電源工事、別途レコーダーの設置が一切不要で、コンセントに挿すだけで録画・遠隔監視を開始できます。この手軽さと、通信費込みで月額2,700円(税抜)からという価格競争力により、累計稼働台数は10,000台を突破。防犯カメラ事業を始めて10年以上、コインパーキングや建設現場をはじめ、店舗、倉庫、マンション、官公庁まで幅広い業種のお客様にご利用いただいています。



Wi-Fi・電源工事・レコーダー不要のオールインワン設計

■防犯カメラレンタルサービス

主なラインナップは、標準機能を備えた「スタンダードプラン」(月額2,700円～)、遠隔で首振り・ズーム操作ができる「首振りズームプラン」、電源工事も不要な「電源不要ソーラープラン」、YouTube Liveでの配信に対応する「ライブカメラプラン」など。ご注文から最短7日で納品でき、故障時の機材交換や警察からの捜査協力(映像提供)対応まで弊社で引き受けるため、導入後の運用負担を最小限に抑えられます。



6つの安心(工事不要／全天候対応／高画質／アプリ確認／警察対応代行／機材永久保証)

■駐車場事業者の皆様へ

コインパーキングは無人運営であるがゆえに、不正駐車や車両トラブル、いたずら行為への対応にご苦労されている事業者様も多いのではないでしょうか。当社のレンタルサービスは、初期投資を抑えながら短期間で防犯体制を整えられる点で、皆様の現場に合ったソリューションになると考えております。協会の一員として、会員の皆さまが抱える防犯上の課題解決に貢献してまいります。

■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました。

「調査研究委員会」

開催日：令和8年7月30日(木)

場　所：全日本駐車協会会議室＋オンライン

議　題：これまでの振り返り
会員駐車場調査について
個別調査研究テーマについて
その他

「広報委員会」

開催日：令和8年10月1日(木)

場　所：全日本駐車協会会議室

議　題：PARKING第255号振り返りについて
PARKING第256号目次案について
PARKING第257号以降目次案について
ホームページの運用状況について
会員宛てメールの発信状況について
寄稿記事回答票について
その他

「企画委員会」

開催日：令和8年10月6日(火)

場　所：全日本駐車協会会議室＋オンライン

議　題：令和8年秋季駐車場研修会(海外)について
新春駐車場研修会について
春季駐車場研修会について
70周年記念行事企画について
総会後見学会について
令和9年秋季駐車場研修会(国内)について
その他

■ 諸会議等報告

＜国土交通省都市局＞

・第3回全国駐車場需給調査検討会
令和8年9月15日　中央合同庁舎3号館

■ 会員動静

［入会］

(賛助会員)

○会員名　ヒイヅル株式会社(東京駐車協会)
代表者　名古屋　健
所在地　静岡県静岡市駿河区栗原7-4 2階
入会日　令和8年8月31日

［退会］

(地区会員)

○会員名　小野　満佐子(千葉駐車場協会)
所在地　千葉県千葉市(個人につき以下省略)
退会日　令和8年8月23日

○会員名　東京海上日動火災保険株式会社(東京駐車協会)
代表者　城田　宏明
所在地　東京都千代田区大手町2-6-4
退会日　令和8年9月30日

以上

PARKING　2026年　第256号

2026年10月31日発行
編集兼発行人　一般社団法人全日本駐車協会
一般社団法人東京駐車協会
東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル地下1階
TEL 03(3528)8305
FAX 03(3528)8306

都内で駐車場を運営されている方へ
駐車場案内標識のご案内

一般社団法人東京駐車協会では、駐車場への案内をスムーズにし、「うろつき運転」を減らすことを目的として、都内で駐車場案内標識設置のお手伝いをしております。

公道への設置
・道路占用許可をはじめとする各種許可を得て、公道上(主に歩道)に駐車場案内標識を設置することができます。

申請は協会が
・必要な申請手続は東京駐車協会名で協会スタッフが行います。

設置工事は協会が
・規格に則り、施工会社、行政機関との調整を含めて当協会が設置工事を取り進めます。

会員料金
・東京駐車協会の会員であれば、諸費用や保証金に会員料金の適用があります。

助成金
・公益財団法人東京都道路整備保全公社による助成金制度を利用し、助成金の交付を受けることができます。
(交付には条件がありますので、当協会までお問い合わせください。)


反射式駐車場名入り


反射式駐車場名なし


内照式

駐車場案内標識は、東京駐車協会の会員以外の方でも設置することができ、現在約350本の標識が都内に設置されています。
是非お気軽に当協会までお問い合わせください。

〔駐車場案内標識に関するお問い合わせ先〕
一般社団法人東京駐車協会
担当者：松本　matsumoto@japan-pa.com
　　船津　funatsu@japan-pa.com
TEL：03-3528-8305